

科目区分	統合分野	科目名	臨床看護の実践	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)内の6H+試験	学 期	第1学期
担当講師	看護師				
科目目標	1. 高度化する医療の進歩や変化に対応し、質の高い継続したケア 並びに 安全の保証を提供するための看護実践能力を習得する。				
授業概要					
第1回	1. 医療安全の基本的な考え方 1) 医療安全の概念、安全管理(セーフティマネジメント)とは 2) 医療事故の定義と分類 3) ヒューマンエラーとヒューマンファクター、医療事故との関係 4) ヒューマンエラーの事故防止対策 (1) ヒューマンファクター工学からの事故防止対策(フェールセーフとフルプルーフ) (2) 指差し呼称、ダブルチェック、業務中断対策、時間切迫対策など 5) インシデントレポートの意義と病院組織における情報伝達と共有・管理 6) 医療安全を推進するための組織的取り組み 7) 危険予知トレーニングと根本原因分析(RCA)の方法				(講義)
第2～3回	2. 事件事例分析、事例演習				(演習)
第4回	終了試験				
看護師国家試験出題基準					
第1回～第4回までのキーワード 医療安全の概念と医療安全対策、安全管理(セーフティマネジメント)、事故防止と安全対策、情報伝達と共有・管理、インシデントレポート、患者誤認の防止、転倒転落の防止、					
授業の進め方					
統合は、分化したものが集まって全体となるように進化していくものである。分化した1つ1つの要素を考えるとともに、分化したものをつなぐ要(①患者中心の看護・患者の人権擁護・アドボカシーの概念 ②看護の役割・機能と責任③看護の専門性やEBN(evidence based nursing)について探求する。 分化→統合→分化→統合のサイクルを繰り返し発展させていくことの意義を学ぶ。					
履修のポイント・留意事項					
PBL(Problem Based Learning) 向題解決型授業形態で進行する。学生が主体的に学習し、課題の準備をする。臨床実習の実践をもとに、学生同士の意見交換を中心に、提示した課題について取り組む。 医療安全の授業は、共通基本技術 I や実習オリエンテーションでの学びを基に展開する。					
テキスト					
学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院(サブテキスト)					
評価方法・配点					
終了試験、レポート課題、授業の取り組み状況、技術演習評価によって総合的に評価する。					

I

